

第2章 交通拠点と観光地を結ぶ二次交通の現状調査

2.1 二次交通の定義

鉄道主要駅や空港等の交通拠点と目的の観光地を結ぶ交通アクセスを二次交通という。

2.2 調査の対象と方法

下の①「対象交通拠点」と②「対象観光地・観光施設」を結ぶ二次交通を今回の調査対象¹とした。その調査対象となる二次交通について、時刻表、各バス事業者ホームページ、各観光協会ホームページ、「東北ネクストごーごーNET」(国土交通省東北運輸局)等を用いて、①交通機関、②運行区間、③所要時間、④運行本数、⑤運賃を調査した。

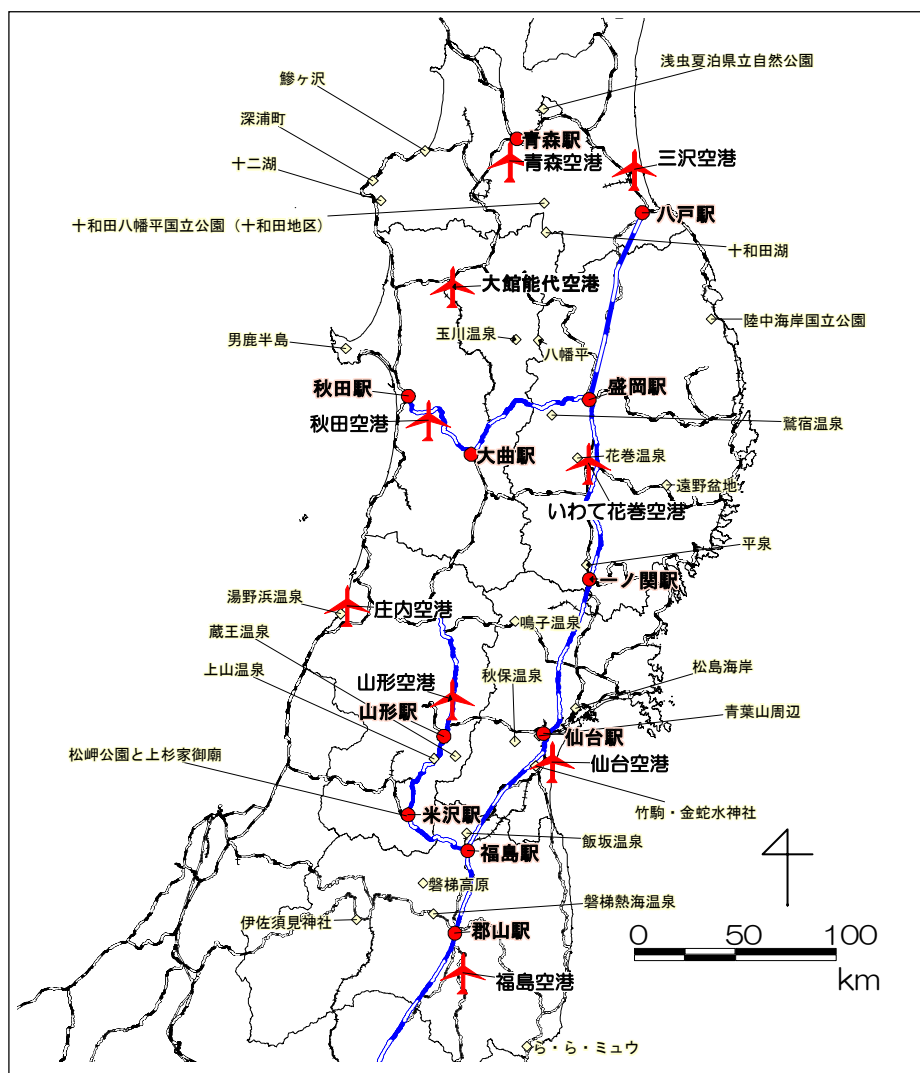


図 2-1 調査対象地域

¹観光バスや観光タクシー等の周遊型の交通については今回の調査対象としない。

①対象交通拠点

鉄道主要駅は、駅乗降人数の各県上位2位のうち、都市内交通を除く駅を対象とした。
空港は、東北地方における空港全てを対象とした（表2-1）。

表2-1 観光地への交通拠点駅及び空港

県名	鉄道主要駅 ^{*1}	空港
青森県	青森駅(8,350) ^{*2} 八戸駅(4,903)	青森空港 三沢空港
岩手県	盛岡駅(17,930) 一ノ関駅(4,511)	いわて花巻空港
秋田県	秋田駅(12,509) 大曲駅(2,337)	秋田空港 大館能代空港
宮城県	仙台駅(76,723)	仙台空港
山形県	山形駅(11,096) 米沢駅(2,526)	山形空港 庄内空港
福島県	郡山駅(18,355) 福島駅(15,274)	福島空港

*1 左側は駅乗降人数の各県上位2位のうち、都市内交通を除く駅

*2 括弧内は平成15年度駅乗降人数（人/日）

出典：東日本旅客鉄道（株）ホームページ

②対象観光地・観光施設

観光地は、「図で見る東北の運輸2006」（国土交通省東北運輸局）における平成17年の年間入込み客数1,200（千人）以上の観光地、800（千人）以上の温泉地を対象観光地とした。

表 2-2 二次交通調査対象の観光地

県		2005年入込客数(千人/年)	
青森県	観光地	十和田八幡平国立公園 (十和田地区)	2,917
		浅虫・夏泊	1,653
		深浦・鯉ヶ沢・十二湖	1,225
岩手県	観光地	陸中海岸国立公園	5,841
		平泉	2,209
		十和田八幡平国立公園 (八幡平地区)	2,075
		遠野盆地	1,524
		花巻温泉郷県立自然公園	1,231
	温泉	鶯宿温泉	841
秋田県	観光地	男鹿半島	1,899
		八幡平	1,244
	温泉	玉川温泉	803
宮城県	観光地	松島海岸	3,419
		青葉山周辺	1,822
		竹駒・金蛇水神社	1,804
	温泉	秋保温泉	1,219
		鳴子温泉	1,100
山形県	観光地	松岬公園と上杉家御廟	1,422
	温泉	蔵王温泉	1,362
		上山温泉	1,020
		天童温泉	831
		湯野浜温泉	825
福島県	観光地	ら・ら・ミュウ	2,412
		磐梯高原	1,971
		伊佐須見神社	1,237
	温泉	飯坂温泉	971
		磐梯熱海温泉	873

資料：東北運輸局「図で見る東北の運輸 2006」平成 18 年。

2.3 東北における二次交通の特徴

2.3.1 交通機関、所要時間、運行本数、運賃

対象交通拠点から対象観光地・観光施設までの主な経路について、①交通機関、②区間、③所要時間*1、④運行本数*2、⑤運賃を下表に示す。

東北地方の区間別二次交通の所要時間は、「60 分以上」「30～60 分未満」「30 分未満」の順で多い。

具体的な観光地別に二次交通をみると、例えば、十和田湖（青森県）へは、八戸駅、青森駅からの路線バスがあるが、青森空港と結ぶ二次交通はない。一方、玉川温泉（秋田県）へは、田沢湖駅からの路線バス以外に、秋田空港、いわて花巻空港、大館能代空港の3空港からの乗合タクシーが運行されている。

*1 乗換時間は考慮していない。

*2 土日の運行本数（片道）。土日で本数が違う場合は土曜日の運行本数を記載。

複数の交通機関に跨る場合は、幹線交通以外の交通機関のうち本数の少ない運行本数を記載。

*3, 4 括弧内は快速列車の所要時間及び運行本数

表 2-3-1 交通拠点と観光地を結ぶ主な二次交通（その1）

観光地			交通機関		区 間	所要時間 (分)	運行 本数 (本/日)	運賃 (円)
青森県	十和田八幡平国立公園 (十和田地区)		路線バス	JR バス東北	八戸駅～十和田湖バスターミナル	140	3	2,600
			路線バス	JR バス東北	青森駅～十和田湖	175	6	3,000
	浅虫夏泊県立自然公園		鉄道	JR 東北本線	青森駅～小湊駅	29 (22) *3	12 (4) *4	480
			小湊駅よりタクシーで約36分					
	深 浦		路線バス	下北交通	青森駅～平内中野 平内中野よりタクシーで約28分	41 28	3	870
鉄道			JR 奥羽線 →JR 五能線	青森駅～川部駅 ～ウェスト椿山	46 (36) 17 (15)	15 (5) 5 (3)	2,370	
岩手県	陸中海岸 国立公園	宮古 (浄土ヶ浜)	鉄道	JR 山田線 →岩手県北バス	盛岡駅～宮古駅 ～奥浄土ヶ浜	150 (120) 22	4 (2) 10	2,100
			路線バス	岩手県交通	一ノ関駅～南気仙沼駅	111	4	1,100
		南気仙沼駅より徒歩5分て魚市場・ミュージアム等						
		気仙沼 ＜宮城県＞	鉄道	JR 大船渡線 →JR 気仙沼線	一ノ関駅～南気仙沼駅	84 (75) 8 (6)	9 (3) 8 (3)	1,290
			南気仙沼駅より徒歩5分て魚市場・ミュージアム等					
			鉄道	東北新幹線→ JR 奥羽東線→ JR 気仙沼線	仙台駅～古川駅 ～小牛田駅 ～南気仙沼駅	13.5 13 119 (84.5)	19 25 7 (2)	1,580 200 1,450
		路線バス		岩手県交通	一ノ関駅～平泉駅	18	17	310
	平泉 (中尊寺など)		平泉駅から岩手県交通巡回バス			中尊寺まで10分 一日乗車券300円		
			鉄道	JR 東北本線	一ノ関駅～平泉駅	(8) 7	19 (1)	190
	平泉駅から岩手県交通巡回バス			中尊寺まで10分 一日乗車券300円				
	十和田八幡平国立公園 (八幡平地区)		路線バス	岩手県北バス等	盛岡駅～八幡平頂上	90	3	1,120
	遠野盆地		鉄道	東北新幹線→ JR 釜石線	盛岡駅～新花巻駅 ～遠野駅	11 68 (57)	18 7 (3)	3,770
			遠野駅より徒歩5～10分に鍋倉城址、白幡神社、遠野八幡宮など					
			乗合タクシー	エアポートライナー	いわて花巻空港～あえりあ遠野	75	7	3,300
	花巻温泉郷県立自然公園		路線バス	岩手県交通	仙台駅～花巻温泉	165	3	2,550
			鉄道、路線バス	東北新幹線 →JR 釜石線 →岩手県交通	盛岡駅～新花巻駅 ～花巻駅 ～花巻温泉	11 9 (8) 20	18 8 (3) 15	5,780
			路線バス	岩手県交通	いわて花巻空港～花巻温泉	14	2	430
	鶯宿温泉		路線バス	岩手県交通	盛岡駅～鶯宿温泉	51	7	930

表 2-3-2 交通拠点と観光地を結ぶ主な二次交通（その2）

観光地		交通機関		区 間	所要 時間 (分)	運行 本数 (本/日)	運賃 (円)
秋田県	男鹿半島	路線バス	秋田中央交通	秋田駅～男鹿駅 ～男鹿温泉	138	4 11	1,730
		鉄道、路線バス	JR 男鹿線→ 秋田中央交通	秋田駅～羽立駅 ～男鹿温泉	111	17 11	1,420
		乗合タクシー	エアポートライ ナー	秋田空港～男鹿温泉	105	3	3,400
	八幡平	路線バス	岩手県北バス等	盛岡駅～八幡平頂上	90	3	1,120
	玉川温泉	路線バス	秋田新幹線→ 羽後交通	大曲駅～田沢湖駅 ～玉川温泉	24 80	28 8	3,310
		乗合タクシー	エアポートエクス プレス	いわて花巻空港～玉川温泉	105	3	5,000
		乗合タクシー	愛☆のりくん	大館能代空港～玉川温泉	110	2	4,300
		乗合タクシー	エアポートライ ナー	秋田空港～玉川温泉	150	2	4,600
宮城県	松島海岸	鉄道	JR 仙石線	仙台駅～松島海岸駅	39	32	400
		路線バス	日本三景交通	仙台空港～松島海岸	65	7	1,500
	青葉山周辺	路線バス	仙台市交通局	仙台駅～仙台城跡	22	15 ^{*1}	250
	竹駒・金蛇水神社	鉄道	JR 東北本線	仙台駅～岩沼駅 岩沼駅より徒歩5分程度	20(15) ^{*2}	70(8) ^{*3}	320
		路線バス	宮城交通	仙台空港～岩沼駅前 岩沼駅より徒歩5分程度	27	7	200
	秋保温泉	路線バス	宮城交通	仙台駅～秋保温泉湯本	52	27	780
		鉄道、 路線バス	JR 仙山線 →仙台市交通局	仙台駅～愛子駅 ～秋保温泉	29(26) 15	41(9) 3	810
	鳴子温泉	路線バス	宮交バス	仙台駅～鳴子温泉車湯	85	1	1,000
		鉄道	東北新幹線→ JR 奥羽東線	仙台駅～古川駅 ～鳴子温泉駅	14 53	23 15	2,230
		鉄道	山形新幹線→ JR 陸羽東線	山形駅～新庄駅 ～鳴子温泉駅	46 66	14 9	3,210
	松岬公園と上杉家御廟	路線バス	山交バス	米沢駅～上杉神社	7	8	190
	蔵王温泉	路線バス	山交バス	山形駅～蔵王温泉ターミナル	36	16	860
	上山温泉	鉄道	JR 奥羽本線	山形駅～カミのやま温泉駅	13	16	230
山形県	天童温泉	鉄道	JR 奥羽本線	山形駅～カミのやま温泉駅	13	16	230
	湯野浜温泉	鉄道、 路線バス	山形新幹線 →JR 陸羽西線 →JR 羽越線 →庄内交通	山形駅～新庄駅 ～余目駅 ～鶴岡駅 ～湯野浜温泉	46 48 15(13) 40	16 11 14(2) 17	4,070
	ら・ら・ミュウ	鉄道、 路線バス	JR 磐越東線 →新常磐交通	郡山駅～いわき駅 ～小名浜車庫 小名浜車庫より徒歩5分程度	90 47	5 -	2,250
福島県	磐梯高原	鉄道、 路線バス	JR 磐越西線 →会津乗合自動 車等	郡山駅～猪苗代駅 ～磐梯高原	45(40) 34	10(9) 6	1,520
		リムジンバス、 路線バス	会津タクシー →磐梯東都バス 等	福島空港～猪苗代駅 ～磐梯高原	94	7 6	2,870
	伊佐須見神社	鉄道	JR 磐越西線 →只見線	郡山駅～会津若松駅 ～会津高田駅 会津高田駅より徒歩10分程度	77(66) 22	11(10) 7	1,330
	飯坂温泉	鉄道	福島交通	福島駅～飯坂温泉駅 飯坂温泉駅より徒歩5分程度	25	40	360
		路線バス	福島交通	福島駅～飯坂温泉	36	4	250
	磐梯熱海温泉	鉄道	JR 磐越西線	郡山駅～磐梯熱海駅	16(13)	11(10)	320

*1 繁忙期は22本/日。

*2 括弧内は快速車両の所要時間

*3 括弧内は快速車両の運行本数

2.3.2 九州の二次交通との比較

東北地方の二次交通の特徴を把握するため、九州地方の二次交通との比較を行った。

対象とする二次交通は、東北地方については表 2-3 の二次交通とし、九州地方については、2005 年において宿泊経験の多い各県上位 2 位（市街地を除く）の観光地*1 と交通拠点（鉄道主要駅*2 及び空港）を結ぶ二次交通とした。

*1 「じゃらん九州・山口観光ランキング」、2006 年 5 月 30 日、(株) リクルート

*2 博多駅、佐賀駅、長崎駅、大分駅、熊本駅、宮崎駅、鹿児島中央駅

(2005 年度の駅別乗降者数各県上位 1 位（九州旅客鉄道 HP より）)

(1) 所要時間

下図は、東北地方と九州地方の二次交通（バス）の距離と所要時間の関係を示したものである。二次交通の所要時間は、東北地方、九州地方ともに距離に比して所要時間が長くなる。

東北地方と九州地方の観光地を比べると、二次交通の距離が同等の場合、東北地方（◆印）の方が九州地方（●印）に比べて総じて所要時間は長く、1km 当たりの平均所要時間を見ると、東北地方が 1.8（分/km）、九州地方が 1.4（分/km）となっている。交通拠点から 30km 以上の観光地で見ると東北地方が 1.6（分/km）、九州地方が 1.4（分/km）となっている。

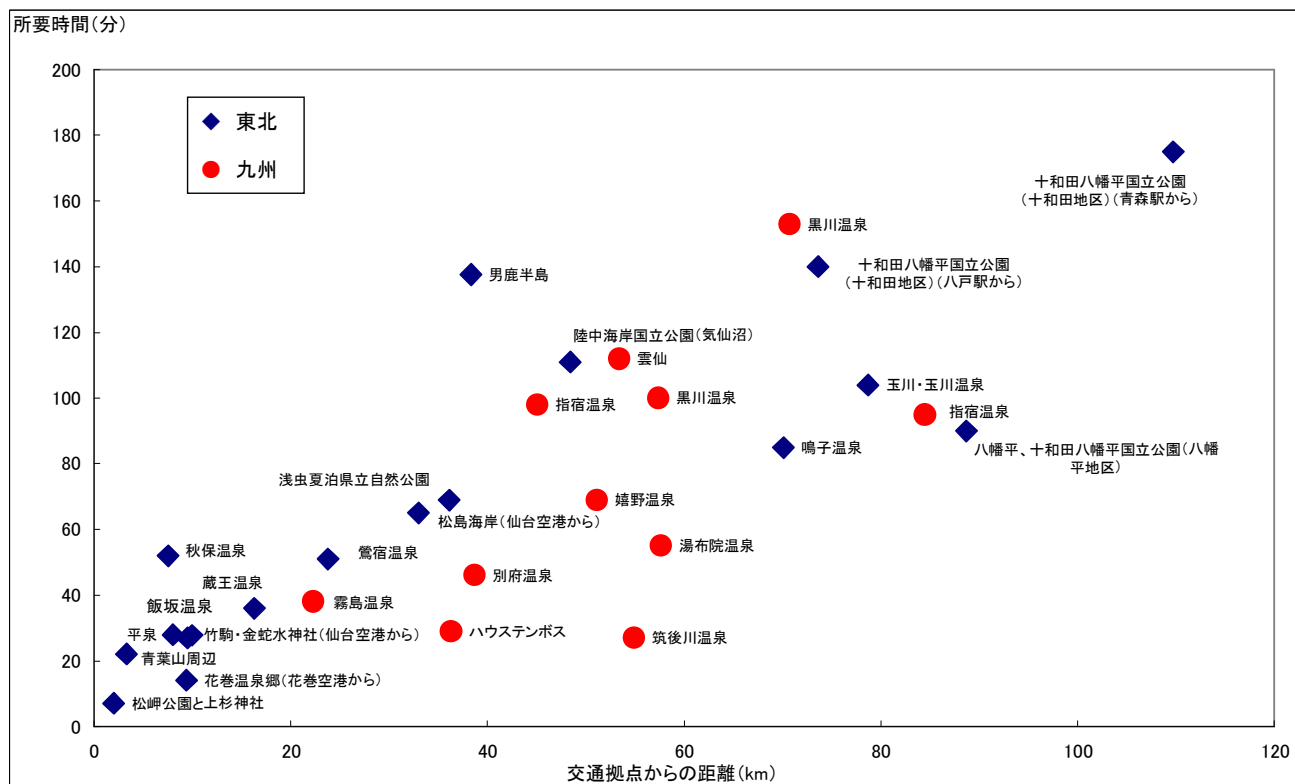


図 2-2 二次交通の所要時間と距離（バス）

注) 本図では、鉄道とバスを乗継ぐ二次交通は対象としていない。

(2) 運行頻度

運行頻度として、交通拠点（東北地方の交通拠点については p. 4、九州地方の交通拠点については p. 8 の定義にそれぞれ従うものとする）からの一日あたりの片道運行本数（乗継ぎを要する場合には、最も少ない運行本数を計上する）を調査する。東北地方と九州地方の二次交通の運行頻度と距離の関係を示したものが下図である。

二次交通の運行頻度を見ると、交通拠点からの距離が長くなるにつれて、路線バス等の運行頻度は減少している。

二次交通（バス、及び鉄道）の平均運行本数について、東北地方と九州地方を比較すると、バスでは東北地方が 9.3（本/日・片道）、九州地方が 8.2（本/日・片道）であり、鉄道では東北地方が 19.9（本/日・片道）、九州地方が 26.8（本/日・片道）である。交通拠点から 30km 以上の観光地で見ると、バスでは東北地方が 4.5（本/日・片道）、九州地方では 8.0（本/日・片道）、鉄道では東北地方が 11.4（本/日・片道）、九州地方が 22.0（本/日・片道）であり、遠距離における東北地方の二次交通の運行頻度は九州地方と比べて約 1/2 と少ない。

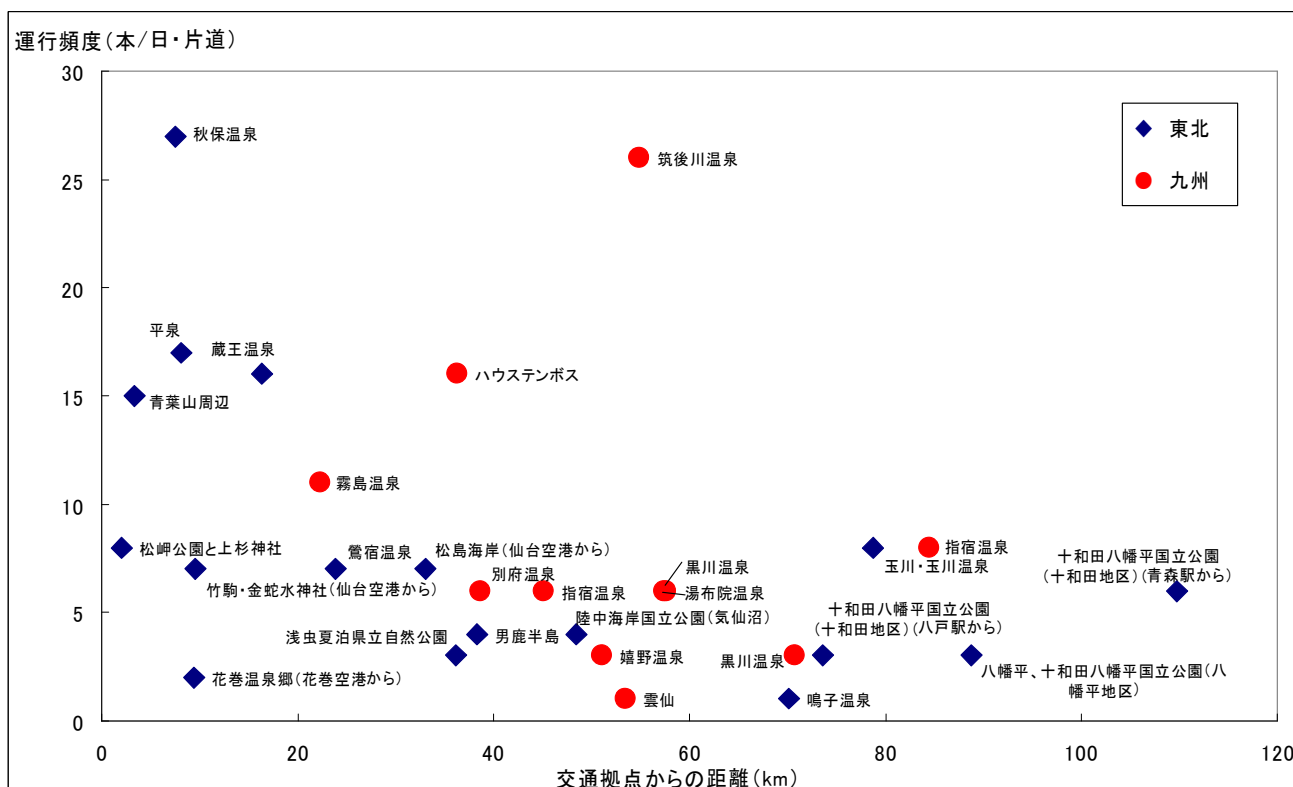


図 2-3 二次交通の運行頻度と距離（バス）

参考. 二次交通の距離の昇順にみた運行本数

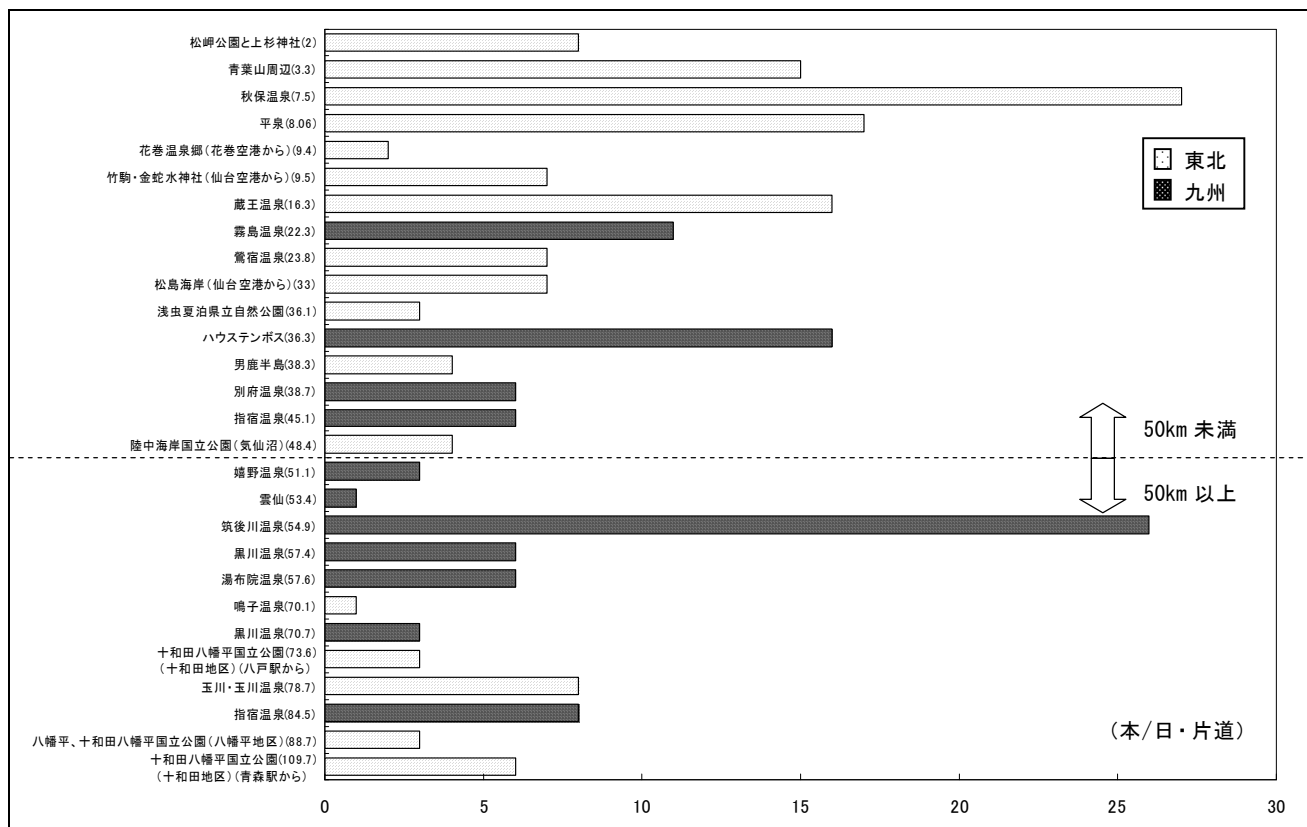
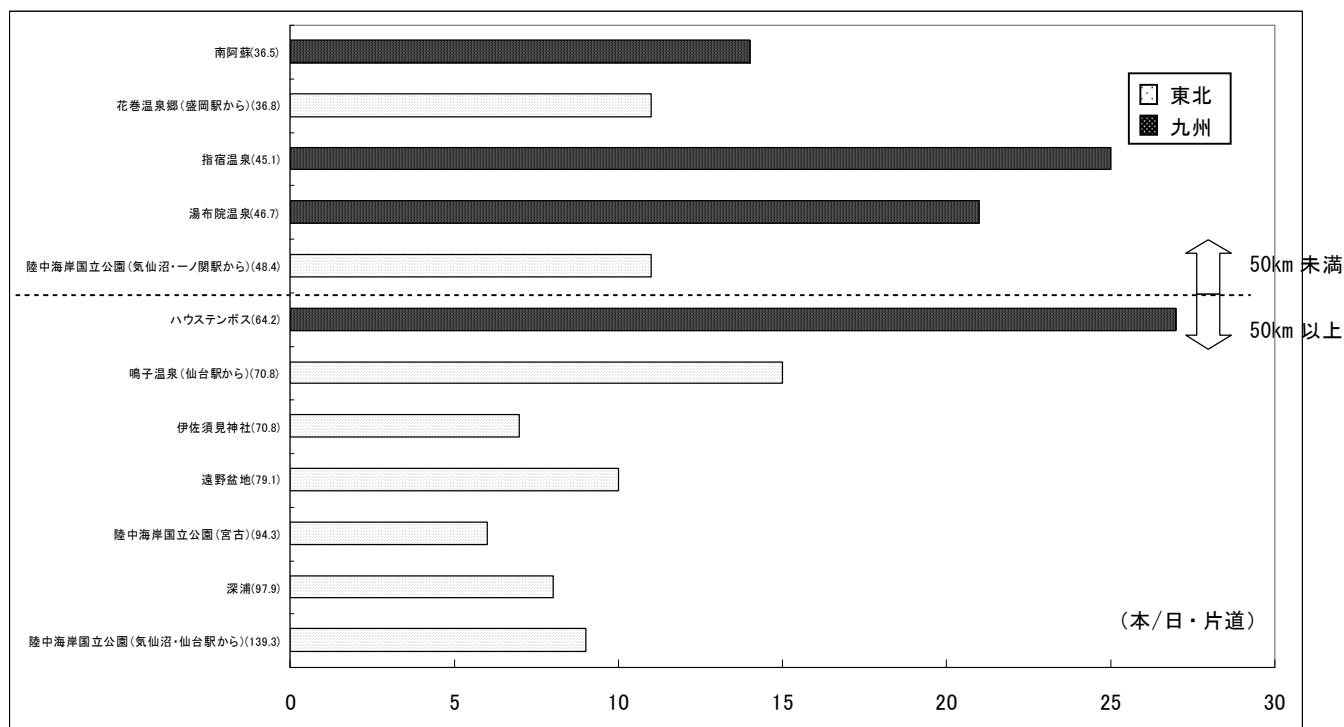


図 2-4 二次交通の運行本数（バス）



※ 括弧内は各経路の交通拠点からの道路距離 (km)

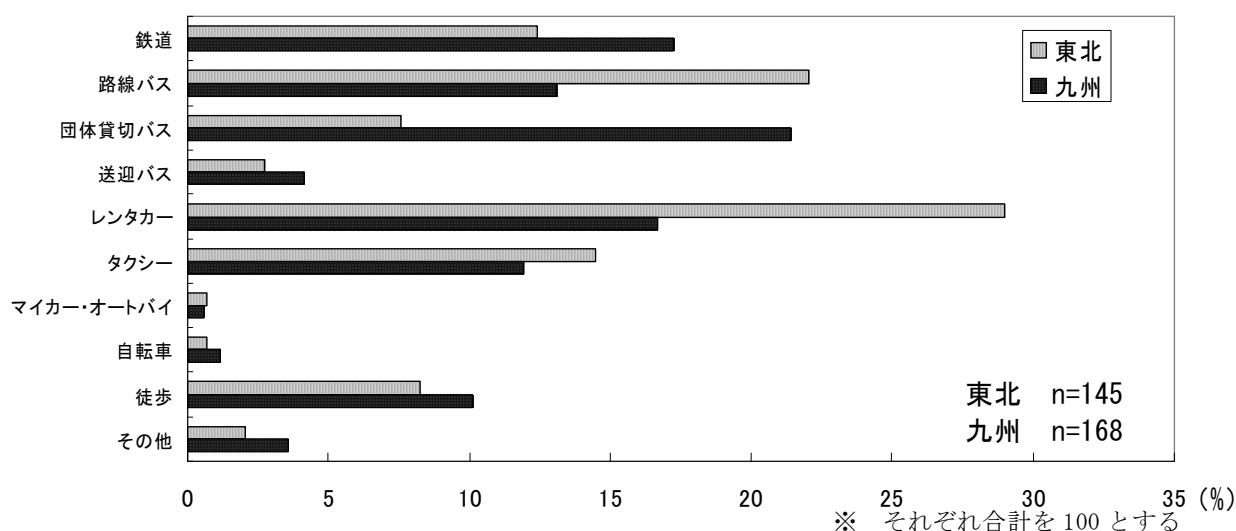
図 2-5 二次交通の運行本数（鉄道）

(3) 交通機関別の利用状況

観光目的の新幹線・航空機利用者が新幹線駅や空港から目的の観光地へ向かう際の交通手段を見ると、東北地方では新幹線・航空機利用者とともレンタカーを利用する人が最も多く、航空機利用者ではその傾向が顕著に見られる。東北地方は九州地方と比較してレンタカーがより多く利用されている（九州地方では、レンタカー利用者は新幹線・航空機利用者ととも3位）。

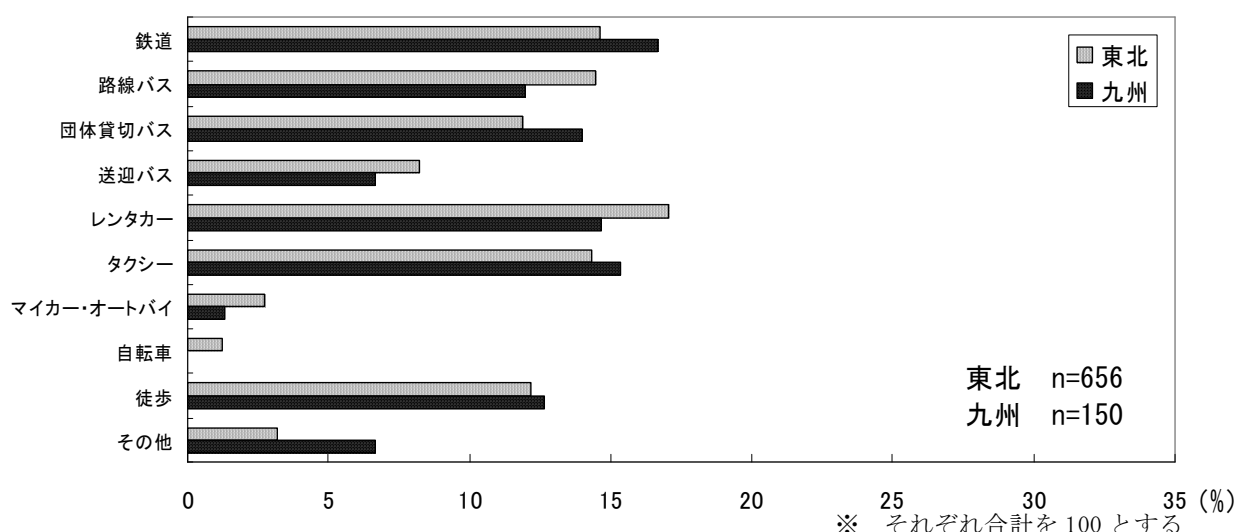
東北地方では、レンタカーに次いで、航空機利用では路線バス、タクシーの利用が多く、新幹線利用では鉄道、路線バス、タクシーの利用が多いことが分かった。

また、鉄道利用をみると、東北地方は九州地方と比較して、鉄道利用者が少ない。



資料：(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構の平成 16 年度資料による

図 2-6 観光における航空機利用者の現地利用交通手段



資料：(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構の平成 16 年度資料による

図 2-7 観光における新幹線利用者の現地利用交通手段

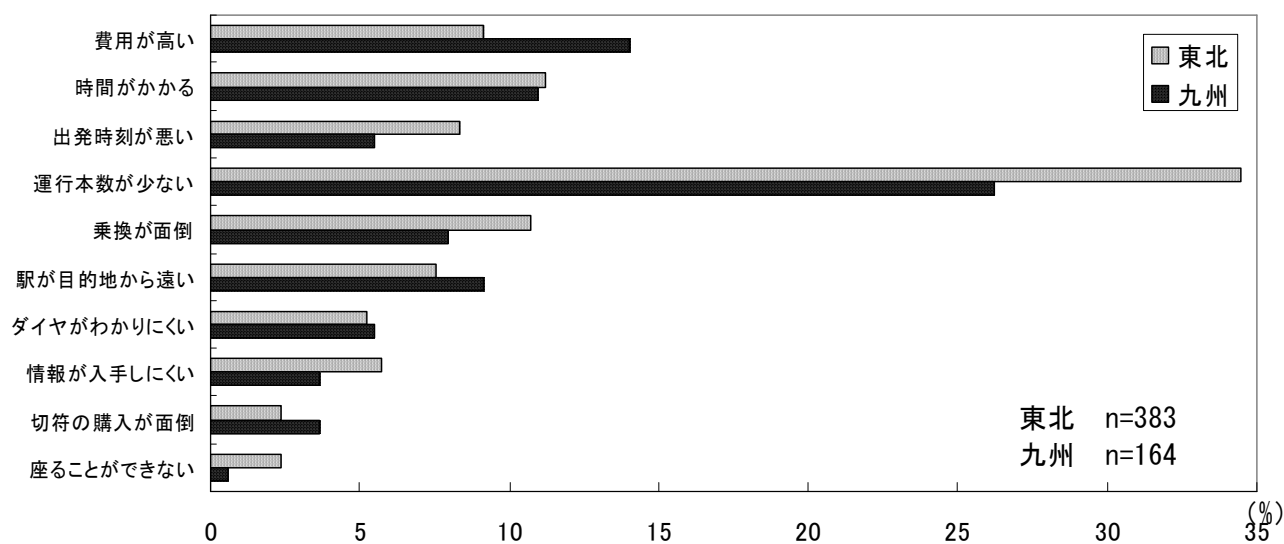
(4) 二次交通の不満点

① 鉄道に対する不満点

観光における鉄道利用の不満点を見ると、「運行本数が少ない」が最も多く全体の 1/3 程度を占めている。東北地方では九州地方と比較して運行本数に対する不満が特に高い。

東北、九州ともに、次いで所要時間、乗換利便性、運賃等に対する不満が多い。

東北地方の方が九州地方と比較して高い不満点は、「運行本数が少ない」、「出発時刻が悪い」、「乗換が面倒」、「情報が入手しにくい」である。



※ それぞれ合計を 100 とする

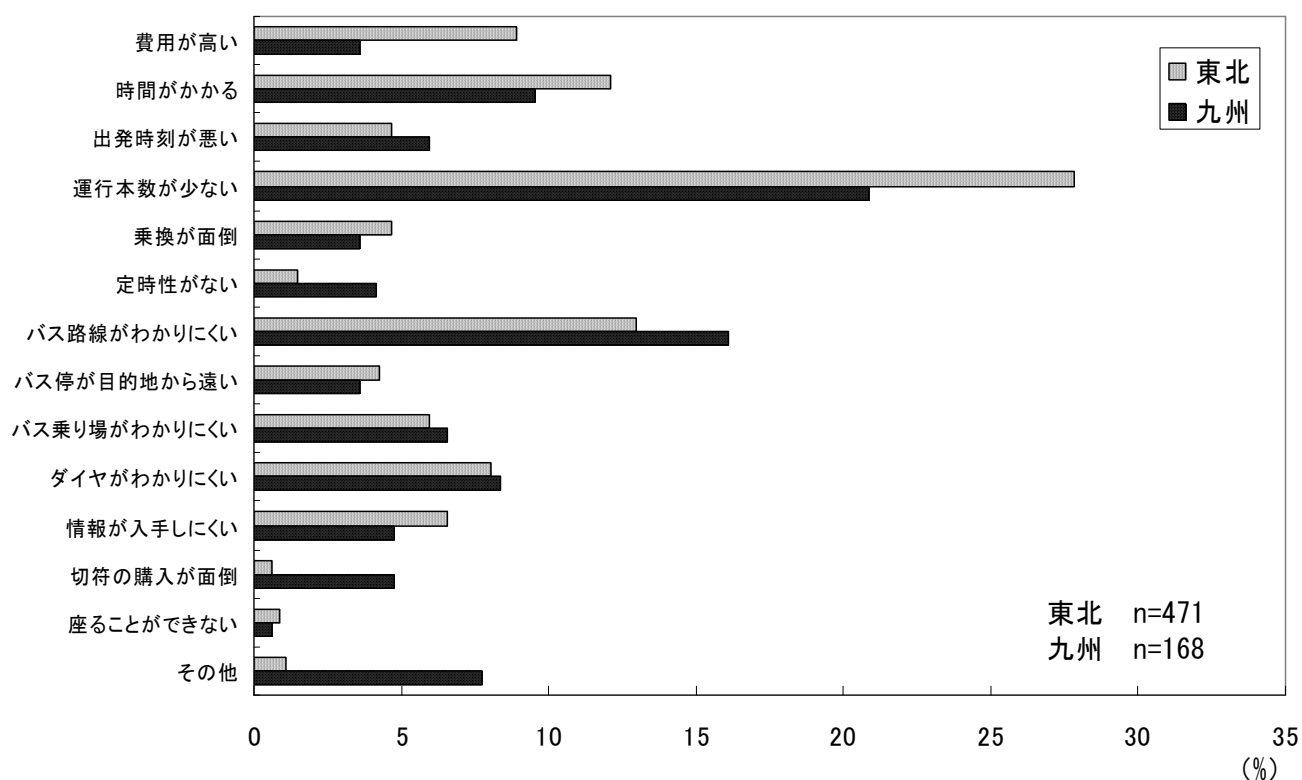
資料：(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構の平成 16 年度資料による

図 2-8 観光における鉄道利用の不満点

②バスに対する不満点

東北地方における現地でのバス利用の不満点を見ると、「運行本数が少ない」が最も多く、全体の3割程度となっている。次いで、「バス路線がわかりにくい」、「時間がかかる」に対する不満が多い。

東北地方では九州地方と比較して「運行本数が少ない」が特に多く、「費用が高い」、「時間がかかる」、「情報が入手しにくい」に対する不満も多い。



※ それぞれ合計を100とする

資料：(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構の平成16年度資料による

図 2-9 観光における現地でのバス利用の不満点

2.4 第2章のまとめ

- ・東北地方においては、九州地方に比べて二次交通の距離、所要時間は長い区間が多い。
二次交通の距離が同等の場合、東北地方の方が九州地方に比べて総じて所要時間は長い。本章で対象とした東北地方における交通拠点からの二次交通の所要時間は、1時間以上が多い。
- ・距離 30km 以上の二次交通（バス、及び鉄道）について、東北地方と九州地方を比較すると、交通拠点から 30km 以上の観光地における平均運行本数は、バスでは東北地方が 4.5（本/日・片道）、九州地方では 8.0（本/日・片道）、鉄道では東北地方が 11.4（本/日・片道）、九州地方が 22.0（本/日・片道）であり、遠距離における東北地方の二次交通の運行頻度は九州地方と比べて約 1/2 と少ない。
- ・東北地方における観光客の二次交通に対する不満点を九州地方と比較すると、運行本数が少ないという不満が多い。所要時間、乗換利便性、情報提供等についての不満も、東北地方の方が九州地方に比べて高い。
- ・仙台空港～松島海岸間のバス、秋田空港等からのエアポートライナー（乗合タクシー）等、空港の母都市を経由しないで、観光地へ直行する二次交通もある。
- ・空港から東北地方に入った観光目的の航空機利用者は、目的の観光地への交通手段としてレンタカーを選択する割合が最も高い。